

## 「がん進展制御研究所セミナー」を開催

2014年8月26日

8月26日（火）にがん進展制御研究所棟4階会議室において、慶應義塾大学先端生命科学研究所 教授 曾我朋義先生を迎え、「メタボロミクスによるがんの代謝研究」と題してがん進展制御研究所セミナーを開催しました。

セミナーでは、ワールブルグ効果で知られるがん細胞特異的な代謝経路について、網羅的メタボローム解析から明らかになってきた分子機構について、とてもわかりやすくお話し頂きました。また、フマル酸によるNrf2活性化機構についての新知見の発見から、がん特異的な代謝産物の抗がん剤標的としての有用性についてお話し頂きました。

セミナーには、所内外の研究者並びに大学院生ら40数名が参加し、とても活発な質疑応答や意見交換が行われ、ました。



# メタボロミクスによるがんの代謝研究

講演者

慶応義塾大学先端生命科学研究所・教授  
曾我 朋義 先生

日時：平成26年8月26日(火) 17:00～18:30

場所：金沢大学がん進展制御研究所 4F 会議室

近年、がんの特異的代謝を標的とした抗がん剤が注目されており、がん代謝の研究が精力的に行われています。曾我先生はメタボローム解析の第一人者として、がん組織で特異的に亢進する代謝経路を明らかにしてきました。また、Oxford大学との共同研究で、がん抑制遺伝子のフマル酸ヒドラターゼ変異で蓄積したフマル酸が、Nrf2の安定化や、クエン酸回路のアコニターゼ阻害に作用することなどを発見されました。

セミナーでは、がんの代謝研究の最近の知見を紹介して頂きますので、皆さん奮ってご参加下さい。

連絡先：大島（がん進展制御研究所・腫瘍遺伝学研究分野 内線6760）